

第9回女性活躍100人会議（12月14日 海士町）

でいただいたご意見に対する県の対応

1. 来年度に新たに実施または拡充するもの

いただいたご意見	対応状況
<p>子育てをしながらもっと柔軟に働き続けたという人がいるので、そうした声をくみ上げて、若い人が仕事して子育てできる魅力ある地域になって欲しい。</p>	<p>女性従業員が出産・育児で離職することなく働き続けることができる職場環境を広めるために、平成28年度から、中小・小規模事業者等に対して奨励金を支給しています。</p> <p>来年度からは、「時間単位の有給休暇制度」「短時間勤務制度」（法律で義務づけられたものを除く。）を令和2年4月1日以降に導入し、従業員の利用実績がある事業者に対し奨励金を支給する制度を新たに設け、子育てしやすい柔軟な働き方ができる職場環境づくりに対する支援を一層強化してまいります。</p> <p>また、中小企業等において、育児と仕事の両立ができるなど、誰もが働きやすい職場づくりを進めていくため、「多様な人材の活躍を目的とした支援パッケージ」事業を今年度から実施し、企業等が取り組む「職場づくり」等を支援しており、来年度から対象事業者などを広げていきます。</p> <p>こうした支援を通じ、若い方が仕事と子育てを両立できる魅力ある職場環境の整備を事業者の皆様とともに進めてまいります。</p> <p>併せて、来年度から新たに、育児・介護など様々な理由で自らの希望に沿った働き方ができていない女性を対象に資格取得、スキルアップ、多様な働き方等を情報提供するセミナーや、起業に関心のある女性を対象とした勉強会を開催することとしております。</p>

2. 実施に向けて検討しているもの

いただいたご意見	対応状況
<p>隠岐汽船のフェリーの中に女性専用スペースやキッズルームを設けてもらえれば助かるし、子育て世代がもっと気軽に隠岐に遊びに来られる。</p>	<p>いただいたご意見について運航事業者である隠岐汽船に伝えたところ、フェリー内でのキッズルームの設置について、前向きに検討を行っていただいております。</p> <p>県としては引き続き、隠岐4町村と緊密に連携し、同社に対して早期実現に向けた働きかけを行ってまいります。</p>
<p>地産地消は大事であり、学校給食での取組に県全体で支援があれば食育が広がる。</p> <p>食は基本であり、子供たちが大人になった時に自分の子育てに反映されるので、もっと広げられればよい。</p>	<p>食材の選択など学校給食の運営については各市町村の判断になりますが、地元産品を活用することが地域の産業を知ることなど食育につながりますので、今後、有機農産物や美味しまね認証農産物など、島根県の特徴ある農林水産物が、学校給食で活用されるように、関係者で連携しながら、市町村に働きかけていきます。</p> <p>また、来年度から、しまね健康寿命延伸プロジェクト事業で、健康な食環境づくりや食育を推進してまいります。</p>

3. 既に実施しているもの

いただいたご意見	対応状況
<p>隠岐地区での発達障がいに関する相談を今まで島大医学部の脳神経小児科医が対応していたが、難しくなったので、島大医学部や県立中央病院の医師に来てもらえないか。</p>	<p>隠岐地域における発達障がい支援については、従来から島根県東部発達障害者支援センターによる「医療相談事業」を実施しており、相談内容に応じて松江市内の小児科医や島大医学部精神医等を派遣しています。</p> <p>また、町村独自の育児相談等も実施されています。今後も町村と連携しながら、相談対応の充実を図ってまいります。</p>
<p>高校生から大学を卒業するまで、親として経済的に大変と感じている。奨学金等があり、各市町村で支援があると思うが、大きな負担だと思ふ。</p>	<p>高校での支援として、奨学金のほかに、授業料を支援する「就学支援金」や授業料以外の学用品費などを支援する「奨学のための給付金」があります。</p> <p>また、大学や専修学校への進学への支援については、従前からの奨学金制度の利用に加え、令和2年度からは、高等教育の負担軽減策により、低所得者に対する授業料等減免や給付型奨学金を受けることが可能となります。</p> <p>なお、大阪府吹田市には、大学や専修学校に進学する島根県出身の学生のための寮として大阪学生会館があり、経済的負担の軽減を図ることができます。</p> <p>今後もこうした制度等の周知を図ってまいります。</p>
<p>西ノ島町には養護学校がなく、松江養護学校に子どもが寄宿しているが、時間も費用もかかり、子どもにも家庭にもハードルが高く、離島のハンデは非常に大きい。</p>	<p>保護者の皆様の経済的負担を軽減するため、特別支援教育就学奨励費制度により、通学費、帰省費、寄宿舎居住に関する経費などを支給しています。</p> <p>また、学校と保護者の方との面談等については、電話でのやり取り、遠方の保護者の方への日程調整の配慮をするなど、今後も保護者の皆様の負担軽減を図ってまいります。</p>

4. 今後の取組を検討するうえで参考とさせていただきご意見

- ・ 土日の保育サービスがあれば、観光業で女性がもっと働きやすくなる。
- ・ 知夫村には幼児が遊べる遊具のある公園がない。保育所前の県の土地で、プレーパークや親子で作る公園を計画しているので、土地を利用させて欲しい。
- ・ 島前では出産前の約一月は本土のホテルに滞在することになるが、母親一人なので、松江市の子育て支援センターなどで交流することができたらよい。
- ・ 知夫診療所に小児科医の確保をしていただきたい。
- ・ 地域のための活動を行う際に、必要な補助金がもらえるような基金を作ってもらえれば、島根全体で活動の幅が広がる。
- ・ 保育所跡地に、遊具のある公園を含め、地域振興観光、子育て支援、社会教育の3本を軸とした施設を作りたいが、縦割りの補助金でなく、厚生労働省や関係する省庁の補助金で総合的に支援してもらいたい。
- ・ 婚活をする女性に旅費や宿泊費を補助するぐらいの姿勢で交流させて欲しい。
- ・ 本土から介護で来島する場合は、離島航路運賃の支援対象外となっているが、子育て、介護に関する隠岐航路の費用は無償化でもよいと思う。
- ・ 婚活のタブレットを役場において登録するが、公共の場には行きにくいので、携帯でできたらよい。

5. 現時点では取り入れることが難しいご意見

※ なし